



(学校生活について) 今年度も、多くの児童が「学校が楽しい」と感じているのがうれしいです。「委員会の時間が楽しい」と感じている児童の割合が昨年度(19%)より大きく向上しています。どの委員会でも子どもたちが主体となり、自主的な取り組みを大切にしていることもつながっていると感じます。「友だちとなかよくすること」「おたがいに助け合うこと」を大切と感じている児童が今年度も多いことも大変うれしいです。今後も友だちと助け合うことを大切にする心を育めるよう、支援していきます。

(授業について) 今年度も授業の内容がわかるという回答が多いのがうれしいです。子どもたちの「楽しい授業をしてほしい」という思いに応えるためにも、日々授業研究を積み重ね、ICTも効果的に活用しながら「みんながわかる」授業を目指して努力していきます。道徳の時間に「身近な友だちのこと」「命や自然のこと」について関心をもっている児童が多いです。今後も、道徳の時間を含め、総合的な学習の時間など様々な場面で「人とかかわり方」や「命や自然の大切さ」を考えられるように取り組んでいきます。

(ご家庭での生活について)

おうちの方に「よいところをほめてほしい」という回答が多いです。自尊感情や自己肯定感を高められるよう、今後も学校でもほめることを大切にいきますので、ご家庭でもお子さんのがんばりや成長をたくさんほめてあげてください。

「ゲームをしたり、スマートフォンを使ったりする時間が、1日2時間以上ある」という回答が昨年度(41%)より増えています。学校で情報モラル等を指導していますが、ご家庭でも今一度、情報モラルや使い方や使う時間などについて、話し合う機会をもっていたらありがたいです。